



テトラック法尻ブロック



テトラック法尻ブロックの特長

- 堤防上に設置する場合、突起部以外を堤防内に設置する場合、また用地境界の位置に対応した断面が可能です。
- 亜鉛-アルミニウム合金メッキ鉄線 (φ8mm) により法面および平場部を格子状に連結させることで、フレキシブルな群体構造としております。
- 上端部および平場部端部にすり付ブロックを使用することで、越流水による上端部の堤防侵食を低減し、平場部端部の流水作用による鉛直方向の侵食を抑えることができます。
- 透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{cm/s}$ 以上のポーラスコンクリートであるため、雨水や浸透水の滞留を防ぐことができ、碎石層および水抜き穴は必要ありません。(P78 ※1 ※2)
- 堤防法尻基礎ブロックやすり付ブロックを使用することで、現場打ちコンクリート打設が不要となり、延長方向に進みながら施工が可能で工期が短縮できます。
- 表面は菱形突起 (8cm・5cm) とし、越流水の流速を低減することができます。

呼 び 名	参考質量 (kg)	価 格 (円)	寸 法 (mm)			
			A	B	H	h
230型	標 準	506	1198	1198	230	150
	すり付	374		1060		
	平場 A	284		700		
	平場 B	116		300	200	
	平場 C	332		860	230	
	平場 D	244		700	150	—
	平場 E	292		800		
210型	標 準	450	1198	1198	210	130
	すり付	318		1000		
	平場 A	252		700		
	平場 B	102		300	180	
	平場 C	292		860	210	
	平場 D	212		700	130	—
	平場 E	252		800		
基礎ブロック	400型	483	400	300	500	300
	500型	612	500	400	500	300
	500-400型	456	500	350	400	100

製品明度

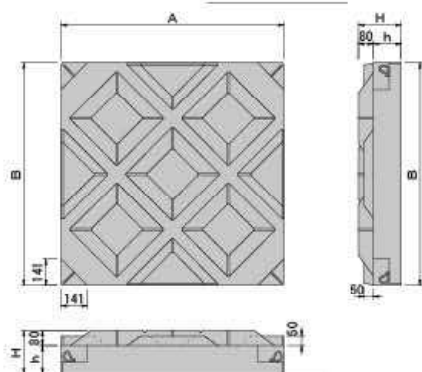
平均明度	3.0
証明書番号	1103号

製品テクスチャー

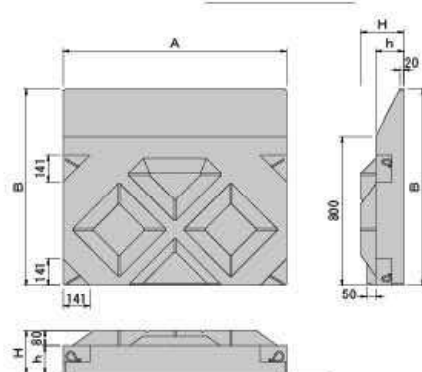
輝度の標準偏差	44
証明書番号	0118号

単体図

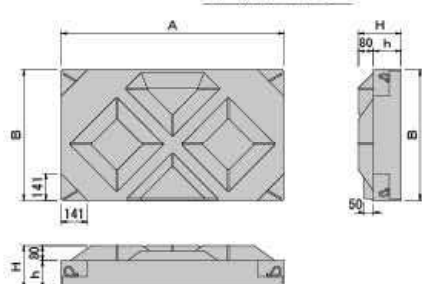
標準ブロック



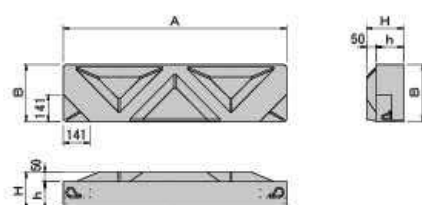
すり付ブロック



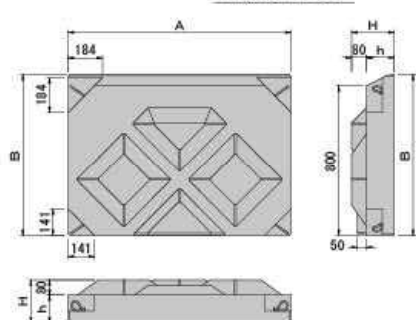
平場Aブロック



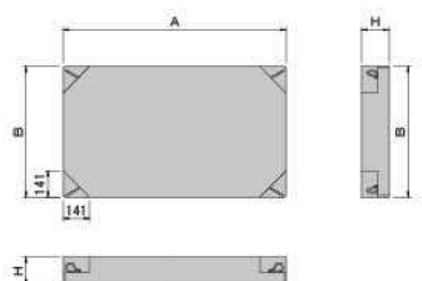
平場Bブロック



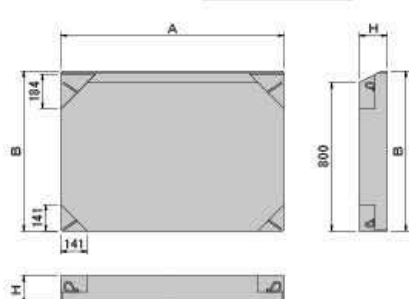
平場Cブロック



平場Dブロック



平場Eブロック



堤防法尻基礎ブロック400型、500型



基礎ブロック500-400型

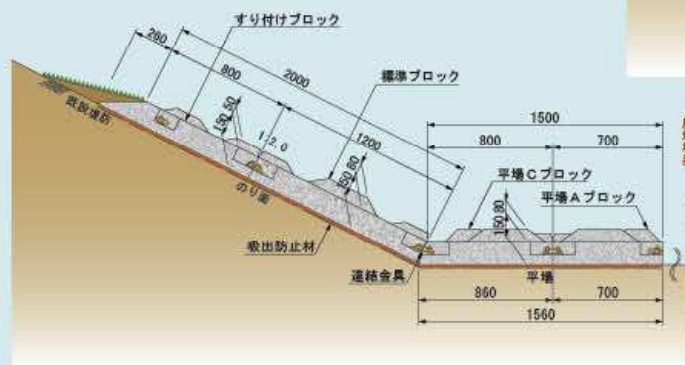




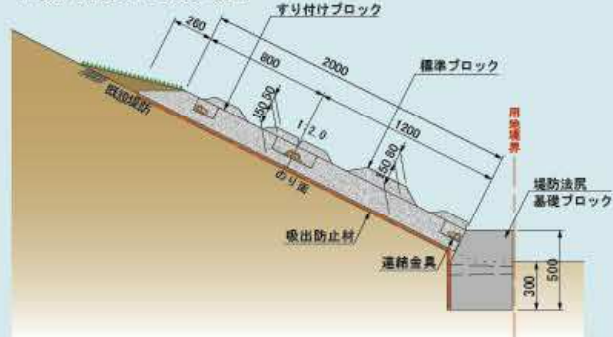
標準断面図 (平場寸法はブロック組合せで変更が可能です)

堤防上に設置

平場が1.5m以上の場合

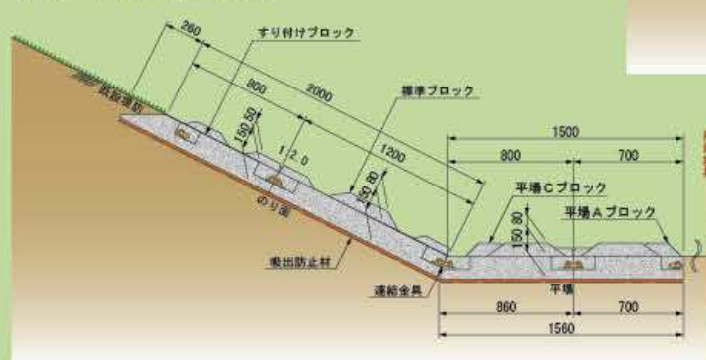


平場が確保できない場合

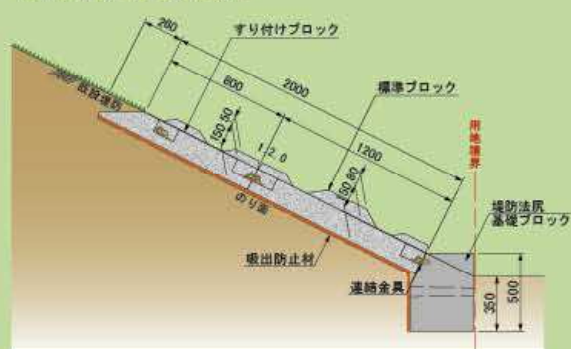


突起部以外を堤防内に設置

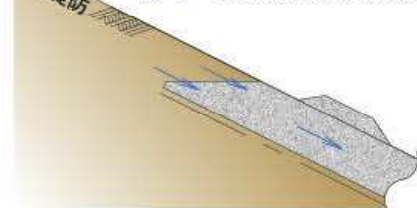
平場が1.5m以上の場合



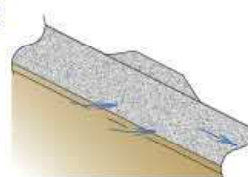
平場が確保できない場合



※1 上端部の雨水の滞留を抑制



※2



ブロックが透水し堤防の浸透に対する安全性に影響しない

施工例

堤防上に設置

平場有り



平場無し

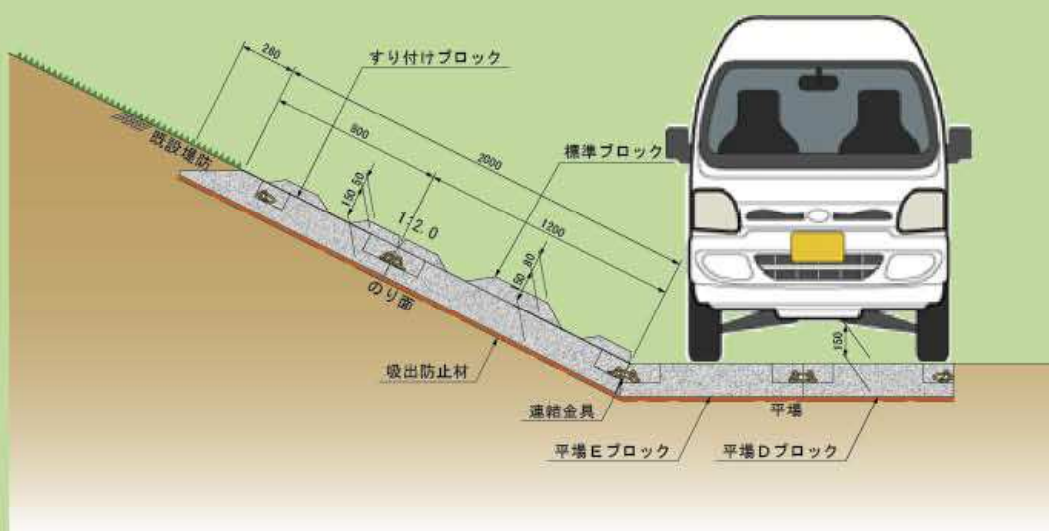


突起部以外を堤防内に設置

平場有り



平場無し



Eブロック、Dブロックを使用することで軽車両や農業機械が通行することが可能です。